

イ	本十二
ハ	地二十、 原五〇三十四、
ホ	原五〇三十四、 原五〇三十四、
ヘ	原五〇三十四、
ト	約三三、
チ	原五〇三十四、
リ	原五〇三十四、 原五〇三十四、
カ	原五〇三十四、 原五〇三十四、
ク	原五〇三十四、 原五〇三十四、
コ	原五〇三十四、 原五〇三十四、
ケ	原五〇三十四、 原五〇三十四、
コ	原五〇三十四、 原五〇三十四、
セ	原五〇三十四、 原五〇三十四、

ハ
セ
六
五
四
三
二

新約全書使徒ペテロ前書

新約全書使徒ペテロ前書
第一章
イ
ハ
セ
六
五
四
三
二
一
新約全書使徒ペテロ前書
第一章
イ
ハ
セ
六
五
四
三
二
一
新約全書使徒ペテロ前書
第一章
イ
ハ
セ
六
五
四
三
二
一

エ	原五〇三十四、 原五〇三十四、
セ	原五〇三十四、 原五〇三十四、
ハ	原五〇三十四、 原五〇三十四、
ヘ	原五〇三十四、 原五〇三十四、
ト	原五〇三十四、 原五〇三十四、
チ	原五〇三十四、 原五〇三十四、
リ	原五〇三十四、 原五〇三十四、
カ	原五〇三十四、 原五〇三十四、
ク	原五〇三十四、 原五〇三十四、
コ	原五〇三十四、 原五〇三十四、
ケ	原五〇三十四、 原五〇三十四、
コ	原五〇三十四、 原五〇三十四、
セ	原五〇三十四、 原五〇三十四、

十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

ある以て他物を指て誓ふ勿れ爾曹是を是とし否を否とすべし恐くハ爾曹
罪に定られん爾曹のうち誰か苦む者ある乎わらば祈禱せよ誰か喜ぶ者
あるか有べし人讚美せよ爾曹のうち誰か病める者ある乎わらば教會の
長老等を招くべし彼等主の名に託て其人に膏を抹き之が爲に祈ん
信仰より出る祈禱ハ病者を救ふべし主之れを起さん若し罪を犯し事有
バ赦れんなんぢら互に過ちを認らし且病を癒るゝことを得ん爲に互
に祈るべし義者の篤き祈禱ハ力ある者なり主エリヤハ我儕と同僚の人な
り彼雨降ざることを切に祈りければ三年六ヶ月の間地に雨降ざりき
た祈りければ天より雨ふりて地うの産を涌出せりわが兄弟よ爾曹の
うち或ハ眞の道より迷る者わらんに誰か之を引戻さば此人知べし罪人を
其迷る道より引戻すハ乃ち其靈魂を死より救ふ多の罪を掩ふことを

新約全書雅各書終

サ	出二二二節	約二〇九節
シ	約十四〇六	
ハ	約十四〇六	
ニ	約十四〇六	
三	約十四〇六	
四	約十四〇六	
五	約十四〇六	
六	約十四〇六	
七	約十四〇六	
八	約十四〇六	
九	約十四〇六	
十	約十四〇六	
十一	約十四〇六	
十二	約十四〇六	
十三	約十四〇六	
十四	約十四〇六	
十五	約十四〇六	
十六	約十四〇六	
十七	約十四〇六	
十八	約十四〇六	
十九	約十四〇六	
二十	約十四〇六	
二十一	約十四〇六	
二十二	約十四〇六	
二十三	約十四〇六	
二十四	約十四〇六	
二十五	約十四〇六	
二十六	約十四〇六	
二十七	約十四〇六	
二十八	約十四〇六	
二十九	約十四〇六	
三十	約十四〇六	
三十一	約十四〇六	
三十二	約十四〇六	
三十三	約十四〇六	
三十四	約十四〇六	
三十五	約十四〇六	
三十六	約十四〇六	
三十七	約十四〇六	
三十八	約十四〇六	
三十九	約十四〇六	
四十	約十四〇六	
四十一	約十四〇六	
四十二	約十四〇六	
四十三	約十四〇六	
四十四	約十四〇六	
四十五	約十四〇六	
四十六	約十四〇六	
四十七	約十四〇六	
四十八	約十四〇六	
四十九	約十四〇六	
五十	約十四〇六	
五十一	約十四〇六	
五十二	約十四〇六	
五十三	約十四〇六	
五十四	約十四〇六	
五十五	約十四〇六	
五十六	約十四〇六	
五十七	約十四〇六	
五十八	約十四〇六	
五十九	約十四〇六	
六十	約十四〇六	
六十一	約十四〇六	
六十二	約十四〇六	
六十三	約十四〇六	
六十四	約十四〇六	
六十五	約十四〇六	
六十六	約十四〇六	
六十七	約十四〇六	
六十八	約十四〇六	
六十九	約十四〇六	
七十	約十四〇六	
七十一	約十四〇六	
七十二	約十四〇六	
七十三	約十四〇六	
七十四	約十四〇六	
七十五	約十四〇六	
七十六	約十四〇六	
七十七	約十四〇六	
七十八	約十四〇六	
七十九	約十四〇六	
八十	約十四〇六	
八十一	約十四〇六	
八十二	約十四〇六	
八十三	約十四〇六	
八十四	約十四〇六	
八十五	約十四〇六	
八十六	約十四〇六	
八十七	約十四〇六	
八十八	約十四〇六	
八十九	約十四〇六	
九十	約十四〇六	
九十一	約十四〇六	
九十二	約十四〇六	
九十三	約十四〇六	
九十四	約十四〇六	
九十五	約十四〇六	
九十六	約十四〇六	
九十七	約十四〇六	
九十八	約十四〇六	
九十九	約十四〇六	
一百	約十四〇六	

信じて喜ぶ其快樂の言がたぐく且榮光あり九蓋なんぢら信仰の效すなりち
靈魂の救を得るに因る爾曹が受る所の恩を預言せし預言者等此救に係
る事を探索かつ推究ねたり十即ち彼等らの裏に居キリストの靈キリスト
の受んとする苦難と其のち得んとする榮を預けめ證えたる此何の日の
かなる時を示せると推究ねたり十二彼等と賦示を蒙りて其傳る所の事おの
れの爲に非ず爾曹の爲なることを知り其傳へし事の今天より遣り給ふ聖
靈に由て福音を傳る者の爾曹に告る所の事なり十三事は天の使等も知んて
とを欲へり十四然バ爾曹心の腰に帶して置みイエスキリストの顯れ給ふ時
なんぢらお來らんとする恩恵を疑はずして望むべし十四なんぢら孝子なる
に因て從前の蒙昧時の慾に效ふことなく十五爾曹を召給ふ聖者に效て凡の
行を潔すべし十六爾曹も潔すべしと有バなり十七人を
偏視す各人の行に由て聽く者を爾曹もし父と呼び世に寄れる目を懼れて
過すべし十八蓋なんぢら贖はれて先祖より傳りたる徒を行より離れし銀
九

ヨリ	聖書二〇六、 聖書二〇六、 聖書二〇六、
ナリ	聖書二〇六、 聖書二〇六、 聖書二〇六、
カリ	聖書二〇六、 聖書二〇六、 聖書二〇六、
ヨリ	聖書二〇六、 聖書二〇六、 聖書二〇六、
ナリ	聖書二〇六、 聖書二〇六、 聖書二〇六、
ナリ	聖書二〇六、 聖書二〇六、 聖書二〇六、
ナリ	聖書二〇六、 聖書二〇六、 聖書二〇六、
ナリ	聖書二〇六、 聖書二〇六、 聖書二〇六、
ナリ	聖書二〇六、 聖書二〇六、 聖書二〇六、
ナリ	聖書二〇六、 聖書二〇六、 聖書二〇六、

曹かれに來り活石の如く建られて靈の室となり亦潔き祭司となりイエス
キリストに由て神に悦べる靈の祭物を獻べし六の聖書に録して我選
し所の貴き隅の首石をシラニに置ことを信する者の辱しめられじと有バ
なり七この石信する爾曹には貴き物となり信せざる者に工師に棄られ
て隅の首石となれる石となり八また蹟く石魂ぐる岩ど爲なり彼等の道を
信せざるに因て之に蹟く此の彼等かく定められたる也爾曹の選れたる族
王なる祭司聖民神に屬する者なり此の爾曹をして召て幽暗より出し其異
光に入給ひし者己の徳を顯さしめん爲に爾曹を此の如き者どなし給へる
也十爾曹の素民お非ず然バ今神の民となる素矜恤を受か然今矜恤を受
たり十一愛する者よ我爾曹に勸む爾曹の實族また寄寓者なれば靈魂に逆
ひて戰ふ肉の慾を去べし十二又なんぢら異邦人の中お在て善行を作べし
是爾曹を誇りて惡を行ふ者ど言る異邦人をして爾曹の善行を見や眷顧た
むふ日に神を崇しめん爲なり十三なんぢら主の爲に凡て人の立つ所の者に

ナリ	聖書二〇六、 聖書二〇六、 聖書二〇六、
ナリ	聖書二〇六、 聖書二〇六、 聖書二〇六、
ナリ	聖書二〇六、 聖書二〇六、 聖書二〇六、
ナリ	聖書二〇六、 聖書二〇六、 聖書二〇六、
ナリ	聖書二〇六、 聖書二〇六、 聖書二〇六、
ナリ	聖書二〇六、 聖書二〇六、 聖書二〇六、
ナリ	聖書二〇六、 聖書二〇六、 聖書二〇六、
ナリ	聖書二〇六、 聖書二〇六、 聖書二〇六、
ナリ	聖書二〇六、 聖書二〇六、 聖書二〇六、
ナリ	聖書二〇六、 聖書二〇六、 聖書二〇六、

服へ或ハ上にある王十四或ハ惡を行ふ者を罰し善を行ふ者を賞る爲に王よ
り遣されたる方伯に服ふべし十五蓋なんぢら善を行ふを以て惡なる人の無
知の言を止るハ神の旨なれば也十六なんぢら自由なる者の如くせよ然だ其
自由を以て惡を掩ふこととなく神の僕人の如くべし十七衆の人を敬ひ兄弟を愛
し神を畏れ王を尊ぶべし十八僕なる者よ畏懼を以て主人に服ふべし只善
良者柔かなる者にのみならず苛刻者にも服ふべし十九人もし受べからざる
苦難をうけ神を敬ひて之を忍ばし二十爾曹もし過をなし懺れ
て之を忍ぶも何の嘉べき事ならん乎されば若し善をなし苦められて此を
忍ばし神に嘉稱を得べし三爾曹の召れたるハ之が爲なり蓋キリスト爾曹
の爲に苦をうけ爾曹をして己の跡に隨はしめんとして式を爾曹に遺し給へ
バ也三かれ罪を犯さず又うの口に詭論なかりき三かれ訴られて訴らず苦
られて屬言を出さず只義を以て觸く者に之を託たり三彼木の上に懸て
我儕の罪を自ら己が身に任給へり是我儕をして罪に死に義に生しめん爲

テ	彼得前書四章六節
テ	彼得前書四章七節
テ	彼得前書四章八節
テ	彼得前書四章九節
テ	彼得前書四章十節
テ	彼得前書四章十一節
テ	彼得前書四章十二節
テ	彼得前書四章十三節
テ	彼得前書四章十四節
テ	彼得前書四章十五節
テ	彼得前書四章十六節
テ	彼得前書四章十七節
テ	彼得前書四章十八節
テ	彼得前書四章十九節
テ	彼得前書四章二十節
テ	彼得前書四章二十一節
テ	彼得前書四章二十二節
テ	彼得前書四章二十三節
テ	彼得前書四章二十四節
テ	彼得前書四章二十五節
テ	彼得前書四章二十六節
テ	彼得前書四章二十七節
テ	彼得前書四章二十八節
テ	彼得前書四章二十九節
テ	彼得前書四章三十節
テ	彼得前書四章三十一節
テ	彼得前書四章三十二節
テ	彼得前書四章三十三節
テ	彼得前書四章三十四節
テ	彼得前書四章三十五節
テ	彼得前書四章三十六節
テ	彼得前書四章三十七節
テ	彼得前書四章三十八節
テ	彼得前書四章三十九節
テ	彼得前書四章四十節
テ	彼得前書四章四十一節
テ	彼得前書四章四十二節
テ	彼得前書四章四十三節
テ	彼得前書四章四十四節
テ	彼得前書四章四十五節
テ	彼得前書四章四十六節
テ	彼得前書四章四十七節
テ	彼得前書四章四十八節
テ	彼得前書四章四十九節
テ	彼得前書四章五十節
テ	彼得前書四章五十一節
テ	彼得前書四章五十二節
テ	彼得前書四章五十三節
テ	彼得前書四章五十四節
テ	彼得前書四章五十五節
テ	彼得前書四章五十六節
テ	彼得前書四章五十七節
テ	彼得前書四章五十八節
テ	彼得前書四章五十九節
テ	彼得前書四章六十節
テ	彼得前書四章六十一節
テ	彼得前書四章六十二節
テ	彼得前書四章六十三節
テ	彼得前書四章六十四節
テ	彼得前書四章六十五節
テ	彼得前書四章六十六節
テ	彼得前書四章六十七節
テ	彼得前書四章六十八節
テ	彼得前書四章六十九節
テ	彼得前書四章七十節
テ	彼得前書四章七十一節
テ	彼得前書四章七十二節
テ	彼得前書四章七十三節
テ	彼得前書四章七十四節
テ	彼得前書四章七十五節
テ	彼得前書四章七十六節
テ	彼得前書四章七十七節
テ	彼得前書四章七十八節
テ	彼得前書四章七十九節
テ	彼得前書四章八十節
テ	彼得前書四章八十一節
テ	彼得前書四章八十二節
テ	彼得前書四章八十三節
テ	彼得前書四章八十四節
テ	彼得前書四章八十五節
テ	彼得前書四章八十六節
テ	彼得前書四章八十七節
テ	彼得前書四章八十八節
テ	彼得前書四章八十九節
テ	彼得前書四章九十節
テ	彼得前書四章九十一節
テ	彼得前書四章九十二節
テ	彼得前書四章九十三節
テ	彼得前書四章九十四節
テ	彼得前書四章九十五節
テ	彼得前書四章九十六節
テ	彼得前書四章九十七節
テ	彼得前書四章九十八節
テ	彼得前書四章九十九節
テ	彼得前書四章一百節

二十 獄にゐる靈に宣傳へたり、この獄にゐる靈ハ昔ノア方舟を備へる問神の忍
て待給へるとき從ハざりし靈なり、此方舟にいり水に由て救れし者ハ僅に
して惟八人なり、其三水に由て表したるバ、アスマ、アスマ、アスマ、アスマ、
生に由て今我儕をも救ふ此バ、アスマ、アスマ、アスマ、アスマ、アスマ、
神を求むるなり、三、アスマ、アスマ、アスマ、アスマ、アスマ、アスマ、
權威ある者能ある者みな彼に服ふなり
キリスト既に我儕の爲に肉體に苦難を受給ひたれば、爾曹も亦うの
心を以て自ら鑑ふべし、うハ肉體に苦難を受し者ハ罪を斷たれば也、これ今
より後人の慾に循ハず、神の旨に循ひて肉體に寓れる餘時を過ん爲なり、
夫我儕既に往にし日ハ異邦人の心に從ひて好色、私慾、沈溺、醉興、酒宴、偶
像を祭る憎べき事を行て既や足り、なんぢら彼等と偕に放蕩の極に趨ぎ
るに因て彼等これを怪みて爾曹を謗るなり、
を爲せる者に己の事を陳ん、福音ハ死し者に宣傳へたり、蓋彼等をして其

テ	彼得前書四章十六節
テ	彼得前書四章十七節
テ	彼得前書四章十八節
テ	彼得前書四章十九節
テ	彼得前書四章二十節
テ	彼得前書四章二十一節
テ	彼得前書四章二十二節
テ	彼得前書四章二十三節
テ	彼得前書四章二十四節
テ	彼得前書四章二十五節
テ	彼得前書四章二十六節
テ	彼得前書四章二十七節
テ	彼得前書四章二十八節
テ	彼得前書四章二十九節
テ	彼得前書四章三十節
テ	彼得前書四章三十一節
テ	彼得前書四章三十二節
テ	彼得前書四章三十三節
テ	彼得前書四章三十四節
テ	彼得前書四章三十五節
テ	彼得前書四章三十六節
テ	彼得前書四章三十七節
テ	彼得前書四章三十八節
テ	彼得前書四章三十九節
テ	彼得前書四章四十節
テ	彼得前書四章四十一節
テ	彼得前書四章四十二節
テ	彼得前書四章四十三節
テ	彼得前書四章四十四節
テ	彼得前書四章四十五節
テ	彼得前書四章四十六節
テ	彼得前書四章四十七節
テ	彼得前書四章四十八節
テ	彼得前書四章四十九節
テ	彼得前書四章五十節
テ	彼得前書四章五十一節
テ	彼得前書四章五十二節
テ	彼得前書四章五十三節
テ	彼得前書四章五十四節
テ	彼得前書四章五十五節
テ	彼得前書四章五十六節
テ	彼得前書四章五十七節
テ	彼得前書四章五十八節
テ	彼得前書四章五十九節
テ	彼得前書四章六十節
テ	彼得前書四章六十一節
テ	彼得前書四章六十二節
テ	彼得前書四章六十三節
テ	彼得前書四章六十四節
テ	彼得前書四章六十五節
テ	彼得前書四章六十六節
テ	彼得前書四章六十七節
テ	彼得前書四章六十八節
テ	彼得前書四章六十九節
テ	彼得前書四章七十節
テ	彼得前書四章七十一節
テ	彼得前書四章七十二節
テ	彼得前書四章七十三節
テ	彼得前書四章七十四節
テ	彼得前書四章七十五節
テ	彼得前書四章七十六節
テ	彼得前書四章七十七節
テ	彼得前書四章七十八節
テ	彼得前書四章七十九節
テ	彼得前書四章八十節
テ	彼得前書四章八十一節
テ	彼得前書四章八十二節
テ	彼得前書四章八十三節
テ	彼得前書四章八十四節
テ	彼得前書四章八十五節
テ	彼得前書四章八十六節
テ	彼得前書四章八十七節
テ	彼得前書四章八十八節
テ	彼得前書四章八十九節
テ	彼得前書四章九十節
テ	彼得前書四章九十一節
テ	彼得前書四章九十二節
テ	彼得前書四章九十三節
テ	彼得前書四章九十四節
テ	彼得前書四章九十五節
テ	彼得前書四章九十六節
テ	彼得前書四章九十七節
テ	彼得前書四章九十八節
テ	彼得前書四章九十九節
テ	彼得前書四章一百節

七 肉體ハ人に由て審判を受るとも、其靈ハ神に由て生命を得しめん爲也、萬
物の末期過けり、是故に憤みて自ら制すること、を爲て祈禱すべし、ハ何事よ
りも先たがひに篤く相愛すること、をすべし、蓋愛と多の罪を掩バなり、
んぢら互に容となく接待すべし、神の各様の恵を司ゆる善家宰の如く、
各人の受し所の賜を以て互に施すべし、一人もし道を語らん、神の示と意
ひて語るべし、人もし服役を作バ、神の賜ふ能と意ひて服役を作べし、是イエ
スキリストに由て毎事に神に榮せん爲なり、夫榮と權ハ神に歸して世
々に至る也、アメン、○主愛する者、爾曹を試むる火の如き苦と非常事の
如くして、爾曹異とする勿れ、主御てスキストの苦に與るを以て歡樂とすべ
し、然バ其榮の顯れん時、また爾曹喜び躍らん、若なんぢらスキストの名の
爲に謗れなバ、福なり、蓋榮の靈すなはち神の靈なんぢらの上に止れば也、キ
リストハ彼等に諭され、爾曹に崇るべく也、
ハ盜をなし或之惡を行ひ或ハ狼に人の事に干渉を怠して苦に遇ふの有

ラ	提後一〇三二、 提後一〇三二、
リ	提後一〇三三、九、十、 非提後一〇三三、四、五、
カ	提後一〇三一、 提後一〇三一、
ク	提後一〇三二、 提後一〇三二、
ヤ	提後一〇三三、 提後一〇三三、
エ	提後一〇三三、 提後一〇三三、
コ	提後一〇三三、 提後一〇三三、
シ	提後一〇三三、 提後一〇三三、
ス	提後一〇三三、 提後一〇三三、

十六	若キラスラアンのに因て苦に遇ハ差ること勿れ却て之に縁て神を崇むべし、主なる神の家を首として世を審判するるとき已に至リたり、若し我儕な汝首に審判せらるゝ時ハ神の福音に従はざる者の其結局は如何ぞや、大もし義者僅して救るゝを得ハ神を敬之ざる者と罪人ハ何處に立んや、是故に神の旨に循ひて苦に遇ものハ善を行ひて其靈魂を信すべき造物者に記すべし
十七	キリストの苦を觀しみて見て證をなし且顯れんとする榮に與ることを得る者なる長老たる我なんぢらの中に我と同一長老たる者に勸む、爾曹の中にある神れ羊の群を牧これを受司するに止を得ずして爲す術てなし利を貪るために爲す樂みて爲べし、又なんぢら記せられたる者に主と爲べからず羊の群の式ど爲べし、なんぢら牧者の長の顯れん時に擧ることなき榮の冠冕を得ん、また幼者に勸む、爾曹長老に服へ且互にみな相服ひて謙遜を衣よ、夫神と驕傲者を拒きて謙遜者に恩を與給ふなり、是故に

サ	提後一〇三三、 提後一〇三三、
キ	提後一〇三三、 提後一〇三三、
ユ	提後一〇三三、 提後一〇三三、
ミ	提後一〇三三、 提後一〇三三、
シ	提後一〇三三、 提後一〇三三、
エ	提後一〇三三、 提後一〇三三、
ス	提後一〇三三、 提後一〇三三、

七	爾曹神の大能の手下に己を卑すべし、期至らば彼なんぢらを高せん、爾曹ろの憂慮どころを悉神に託ぬべし、蓋かれ爾曹を顧みたまへばなり、ハ
八	謹愼傲醒なんぢらの敵なる惡魔吼る獅子の如く循行て吞べき者を尋ぬ、
九	なんぢら信仰を堅して之を禦げ蓋なんぢら世にわある兄弟の同く此苦を受るるを知り、諸の恩恵を予ふる神すなはち爾曹をして暫く苦を受ける後
十	キリストイエスにわある窮なき榮に入しめんとて、爾曹を招きし神、爾曹を全うし堅くし強して基の上に置給ふべし、願くハ榮光と權力世々神に在リ
十一	メソ、三、われ意ふにシルハノは忠信なる兄弟なり、我片の言の書を彼に記
十二	ね、爾曹に贈て勸をなし且なんぢらが立どころの思は乃ち神の眞恩ある
十三	ことを證せり、三、バビロンに在所の爾曹と共に選れたる教會なんぢらに安
十四	を問きたる吾子、三、コも爾曹に安を問り、なんぢら愛の接吻を以て互に安を
十五	とへ願くハキリストイエスに在なんぢら榮に平康あらん事をアメン